

おもしろい～

新しい視点から考える
方言研究の第一人者が明かす

なおえつ弁講座

講師 東北大学名誉教授(直江津・天王町出身)

専門は方言学で
全国の方言を様々な角度から研究する

小林隆先生

◆小林先生の研究

私たちが学ぶ古い時代の日本語は、『源氏物語』や『枕草子』といった文学作品を資料とするもので、中央の貴族や知識人たちが文章を書くために使ったことばです。しかし、そうしたことばが過去の日本語のすべてではありません。

そこで、方言を探索することで、文献の陰に隠された庶民の話したことばの歴史を掘り起こす研究を行っています。また、古い時代の日本語は決して死に絶えたことばではなく、中央から地方へ伝播することで、今でも各地の方言となって生きています。(東北大学ウェブサイトより)

◆小林先生のプロフィール

1957年(昭和32)、新潟県上越市(直江津)生まれ。

東北大学で国語学を学び、東北大学大学院に進む。

国立国語研究所研究員を経て東北大学教授。博士(文学)。

専門は方言学。全国の方言をさまざまな角度から研究。

◆著書

『ものの言いかた西東』(岩波新書)/<もっと知りたい!日本語>『方言が明かす日本語の歴史』(岩波書店)/『シリーズ方言学1～4(方言の形成)』(岩波書店)などがある。

日時・令和7年7月5日(土) 13時30分開場・14時開演

会場・ライオン像のある館(旧直江津銀行)上越市中央3-7-31

席数・45席(入場無料・ご入場できない場合があります)

※車の場合は船見公園駐車場をご利用ください

問合せ まちおこし直江津 佐藤 090-4373-4066



次回・9月21日(日) 上越の狂歌界-直江津の“べらぼう”を探せ-

直江津今町が生んだ天才狂歌師千代垣素直の発見者で狂歌研究の第一人者・東北大学名誉教授高橋章則先生